平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号　10 － 7

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	豊かな体験活動推進事業						
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		教育総務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	髙橋健仁		氏名	安井雅憲	
事業の概要	調査研究校に指定された豊丘小学校がおこなう、子ども達が豊かな人間性や社会性を育むための実践活動に対して経費を負担する。（文部科学省所管事業）					全体計画 /単年度のみ（平成 20 年度～ 21 年度）	
						事業費 国・道支出金	1,554 千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	千円
						事業費計	1,554 千円
実施方法	□ 直営	□ 民間委託	■ その他（間接補助事業）				
第 5 期総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 B				
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	#	学校教育の充実				
	単位施策	1	小中学校の教育内容の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務				
	その他計画・根拠等	豊かな体験活動推進事業実施要綱					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	1,044 千円	510 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	1,044 千円	510 千円	千円	千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	児童	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	児童の発達段階においては、様々な体験活動が必要である。	調査研究校としての事業の円滑な実施		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	本事業の円滑な実施	① 実施校数	目標年度	平成21年度
			目標値	1 校
			実績値	1 校
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	本事業に取り組むことによって子ども達が自ら行動し自ら学ぶ力を養う。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内　容（どのような手段で何を行ったか）

事業実施校の募集・調査研究校としての指定	教育局からの通知にもとづき事業実施校を募集し、豊丘小学校が調査研究校としての指定受けた。
道との委託契約に基づく事業の実施	道と町が事業実施に係る委託契約を締結し、指定校が事業計画に基づき事業を実施。事業に要する経費については学校からの請求に対し事業負担金として支出。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	☐義務的なもの ☐全部 ☐一部	体験を通して子どもたちの人間性や社会性を醸成するための必要な事業である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 ☐ほぼ達成 ☐下回る	円滑な事業の実施がおこなわれ、子どもたちの「自ら学び」「自ら考える」力が養われた。 事業が円滑に行われたことにより、調査研究校としての役割が果たされた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ☐事業費抑制 ☐人員削減 ☐時間短縮・作業軽減 ■その他	子どもたちの実践活動に対する必要な事業費について効率的な財源確保が出来た。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ☐受益者負担がある ☐受益者負担がない ☐受益が一部に偏る ■その他	対象児童が等しく本事業の活動に参加することにより公平性が確保された。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
対象校の体験活動を通して、児童の健やかな変容により生きる力の醸成につながった。	同左	

今後の展開方向（Action）

終了	終了	
平成２０年度で事業を終了する予定であった豊丘小学校については平成２１年度も継続して本事業に取り組むこととしたが、当該年度で事業終了となる。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）